

令和5年度第1回四街道市総合計画審議会 会議録

日時 令和5年8月16日(水) 14時00分～15時15分
場所 保健センター3階大会議室
出席委員 大下会長 市川委員 日野委員 伊能委員 宮下委員 北村委員
松吉委員 白石委員 藤本委員 木本委員 鈴木委員 舛田委員
欠席委員 宇田川委員 大塚委員
事務局出席者 和田経営企画部長 高橋副参事 荒巻政策推進課長 小貝課長補佐
木村企画係長 新堂主任主事 落合主任主事 守屋主事 竹中主事
コーエイリサーチ&コンサルティング(委託事業者) 社員1名
傍聴人 2人

——会議次第——

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 会議の公開・非公開
4. 議題
(1) 新たな四街道市総合計画基本計画骨子(案)について
(2) その他
5. 閉会

——会議の内容——

1. 開会

【事務局】本日は、令和5年度第1回四街道市総合計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。これより令和5年度第1回四街道市総合計画審議会を開会いたします。本日は、委員定数14名のうち12名が出席しておりますので、会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。

それでは会議に先立ちまして、大下会長よりご挨拶をいただきたいと思います。大下会長、よろしくお願いたします。

2. 会長挨拶

【大下会長】～挨拶～

【事務局】ありがとうございました。今年度、委員の変更がございましたので、ご紹介をさせていただきます。はじめに栗田委員に代わりまして、印旛地域振興事務所所長の伊能委員でございます。

【伊能委員】～挨拶～

【事務局】続きまして、土井委員に代わりまして、京葉銀行四街道支店支店長の白石委員でございます。

【白石委員】～挨拶～

【事務局】続きまして、石河委員に代わりご就任いただきました、連合千葉中央協議会議長代行の大塚委員につきましては、本日欠席のご連絡をいただいておりますので、お名前のみご紹介をさせていただきます。

それでは、この後の会議の進行につきましては、四街道市総合計画審議会条例第6条第3項に基づき、会長が議長となりますので、大下会長にお願いいたします。大下会長、よろしくをお願いいたします。

3. 会議の公開・非公開

【大下会長】それでは、これより進行を務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

まず、会議録の作成についてですが、四街道市審議会の会議の公開に関する指針により、審議会は会議録を作成することとなっています。

なお、会議録における発言者名については、審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準の規定により、原則として明記することとなっておりますので、本審議会においても明記する取扱いとしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【各委員】～承認～

【大下会長】それでは、会議録には発言者名を明記することとします。会議録は事務局が作成することとし、出席委員を代表して北村委員、木本委員に会議録の内容確認をお願いしたいと思います。委員の皆様いかがでしょうか。

【各委員】～承認～

【大下会長】北村委員、木本委員よろしいでしょうか。

【各委員】～承認～

【大下会長】それでは、会議録の内容確認を北村委員、木本委員にお願いいたします。

続いて、本日の会議の公開・非公開につきましては、四街道市審議会の会議の公開に関する指針により、公開とさせていただきます。

また、会議資料につきましては、審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準の規定により、傍聴人の閲覧に供するものとしますが、このうち、会議次第につきましては、配布するものとします。

しかし、その他の資料につきましては、今後の審議において変更する可能性があるため、会議終了後に回収することとしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【各委員】～異議なし～

【大下会長】それでは 本会議は公開とし、傍聴人に会議次第を配布、その他の資料については会議終了後に回収することとします。

事務局は傍聴人の方がいらっしゃいましたら、入室させてください。

【事務局】2名おりますので、只今より入室をしていただきます。

4. 議題

(1) 新たな四街道市総合計画基本計画骨子（案）について

【大下会長】それでは、議題（1）について事務局より説明をお願いします。

【事務局】～議題（1）について説明～

【大下会長】委員の皆様からご意見等をお伺いしたいと思います。

【鈴木委員】HAPPY SMILE PLAN と HAPPY SMILE PROJECT の位置づけについて、HAPPY SMILE PLAN に基づき、各所管が HAPPY SMILE PROJECT の取組を実施するということでしょうか。2つの名称について整理が必要だと感じました。

また、このプロジェクトについて、審議会はどのような役割を果たすのでしょうか。

【事務局】 現行の後期基本計画の中でも、未来創造プロジェクトⅡという重点プロジェクトを定めており、新たな総合計画基本計画においても、本市の大きな課題に対応するため、分野横断的かつ重点的に取り組んでいく取組を重点プロジェクトとして HAPPY SMILE PROJECT という名称を用いてお示しました。

HAPPY SMILE PROJECT については、基本構想に掲げる4つのまちづくりの道に沿って、各所管の事業・取組をピックアップして掲載する予定であり、今回は想定される取組のイメージを記載してあります。

【大下会長】本審議会の役割を整理しますと、市が作成した計画案について諮問を受けて、審議会からの意見等を市に答申するものとなります。従って、重点プロジェクトにおける審議会の役割についても同様であり、市が検討した内容について議論を行い、意見等を申し上げることとなります。

市民等の役割もまた同様であり、例えば資料No.1の3ページには(3) みんなで創るみんなの計画と記載されていますが、市民等の意見を最大限に踏まえたうえで、計画を策定するという考え方を示していると思います。つまり、市民等の意見は当然尊重し、可能な限り計画へ反映しますが、ワークショップなどで市民等が集まって計画の中身を決めていくものではありません。

今回の計画では、HAPPY SMILE PLAN と HAPPY SMILE PROJECT や政策と施策のように主従の関係になる言葉がありますが、もう少し概念的にわかるような説明を入れておいた方がわかりやすいと思います

また、見せ方についても、資料No.1の15ページに体系が示されていますが、それぞれの文言や構図について、もう少しわかりやすく示していただければと思います。

【舛田委員】今回わかりにくいと感じる部分については、骨子の段階では仕方がないと思いますので、今後、具体的に記載してもらいたいと思います。

資料No.1の12ページに市のPRポイントが記載されていますが、ほかにも良いところがあるのではないかと思います。例えば、このまちを選んで住んでいる人にとっては災害リスクの低さも大きな意味を持っているはずです。また、空気の良さに魅力を感じて移住してきた病気をお持ちの方もいらっしゃいますし、病院等もあります。記載されているもの以外にも良いところがあるので、追記してはどうでしょうか。

【事務局】舛田委員がおっしゃるとおり、今回お示したのは、骨子(案)であり、これから肉付けを行います。体系も若干変更になるかも知れませんが、施策についても追加・変更があるかもしれません。あくまでも一つの例示としてご理解いただければと思います。

また、市のPRポイントにつきましても、今回はあくまでも例示として1ページにまとめましたが、今後肉付けを行う予定です。ただし、一点ご理解いただきたいのは、魅力を記載

する上でもデータの裏付けが必要になるということです。災害に強いという点も含め、データの裏付けが可能なものについて、魅力を整理して追記したいと思います。

【木本委員】私は、この計画に好感を持っています。市民からの声を聞きつつ、親しみやすく、非常にきれいにまとまっていて、読みやすくわかりやすい計画だと思っています。

ただし、他の委員がおっしゃっていたように、もう少し言葉を整理した方が良いように思います。HAPPY SMILE PLAN・HAPPY SMILE PROJECT・政策・施策のつながりをわかりやすく示すことができれば、さらに良くなると思いました。

【市川委員】HAPPY SMILE PLANとHAPPY SMILE PROJECTについて、説明を聞いて納得しました。今後、文言の整理がされていくと思いますが、さまざまな取組を包含する抽象度が高い表現となると、取組の抜け漏れが気になりますので、その点に注意していただければと思います。

また、これは意見ですが、資料No.1の3ページにまちづくりの推進力が4点記載されていますが、とりわけデジタル化については、これからの20年でさらに進化が進むと思います。デジタル化に伴って、どのように暮らしやすいまちになっていくか、展望が見えると良いと思いました。

【伊能委員】資料No.1の11ページにある市の概況に関連する意見です。成田空港ではさらなる機能強化として、令和11年3月の第3滑走路完成を目指して具体的に動き出している状況で、印旛地域では経済・雇用などの面でかなり大きなインパクトが起ころうとしています。このことについても、長期的なスパンで見据え、四街道市における施策展開を考えていただけたらと思います。

【藤本委員】前回の審議会では、基本構想に掲げた4つのまちづくりの道を称賛する意見が多かったと思います。資料No.1の15ページだけの印象ですが、せっかくの4つのまちづくりの道のインパクトが弱くなっている気がしますので、5つの分野の上位に4つのまちづくりの道があることを強調してはどうかと思います。

また、先ほど市川委員がおっしゃった、デジタル化への意見については全く同感です。行政のデジタル化と市民のデジタル化のどちらの点においても、デジタル技術を使いこなせなければ意味がありません。デジタル化の本当の問題は、職員・市民双方の情報リテラシーをどれだけ引き上げるかだと思います。その視点を計画の中に是非盛り込んでいただきたいと思います。

【日野委員】今回示された骨子（案）は、全体として非常に整理されていると感じています。その中でいくつか申し上げますと、HAPPY SMILE PLANとHAPPY SMILE PROJECTのすみ

分けについて、資料No.1の2ページにある基本計画の位置づけと計画期間の中で、HAPPY SMILE PLANとHAPPY SMILE PROJECTについて、図で示したらわかりやすいのではないかと思います。加えて、4つのまちづくりの道がどのように関わっているのかについても図で示してはどうでしょうか。

また、資料No.1の3ページにまちづくり推進力としてシティプロモーションが位置付けられています。定住人口の獲得という意味も強いと思うのですが、文言だけの印象では、どちらかという観光という要素が強く感じられるほか、現行計画で使われているシティセールスという言葉との使い分けの整理も必要だと思います。一つの考えとして、地域コミュニティに若い方々が参加しやすい環境になれば、若い方々の定住やシビックプライドの醸成にもつながるのではないのでしょうか。その視点をまちづくり推進力に加えてはどうかと思いました。

また、資料No.1の12ページにある市のPRポイントについてですが、例えばSWOT分析のように、四街道市の強み・弱みや、プラス・マイナスの外的要因を分析してはどうでしょうか。その分析結果を基にして重点プロジェクトであるHAPPY SMILE PROJECTを進めるというストーリー性を持たせれば、市民もわかりやすいし、みんなで計画を創っているという意識も高まるのではと感じました。

最後に1点質問なのですが、資料No.1の4ページにU-18よびディア選手権！の記載があります。その中で5組の方が受賞されたとありますが、具体的にどのようなアイデア提案があったのでしょうか。提案の中にグッドプラクティスになりそうなものがあれば、若者からの提案である点も踏まえ、今回のHAPPY SMILE PROJECTに反映できたらいいなと思いました。

【事務局】 U-18よびディア選手権！で受賞された5組は、いずれも高校生です。

まず、最優秀よびディア賞は四街道の自然と農作物を生かした若者たちでつくる屋外カフェについての提案、優秀よびディア賞はお花とイルミネーションで街を豊かにするイベントについての提案がありました。

また、よびディア賞はそれぞれ、四街道の自然を活かした公園づくり、交通事故を減らした住みよいまちづくり、グリーンスローモビリティを用いた高齢化社会及び地球温暖化への対策についての提案がありました。

今回提案のあったアイデアについては、事業として具体化しつつ、HAPPY SMILE PROJECTにも可能な限り取り入れたいと思います。

【大下会長】 私が気になったところは、計画の進行管理です。現在検討をしているところだと思いますが、みんなで創るみんなの計画と謳っている中で、どのように市民の意見を取り入れ、どのように結果を公表するのか、ご検討をお願いしたいと思います。

また、まちづくり推進力についてですが、文言を整理していただき、計画の趣旨に合う

ように表現されるのが良いと思います。

【事務局】まちづくりの推進力にシティプロモーションを含めた意図についてですが、マスメディアを活用して事業展開することで、市の知名度や価値の向上が見込めます。このような取組は、各所管が一体となって進めることでさらに効果的なものとなるため、市民のみならず、職員に向けたメッセージとしても記載しました。

【大下会長】文言については今後精査をされると思いますが、シティプロモーションの中で関係人口についても記載するのも良いのではないのでしょうか。

そのほか、官民連携について、現在は民間事業者との連携について記載がありますが、大学などの教育機関を入れていただくのも良いのではないのでしょうか。

また、私は公公連携こそが大切だと考えています。プロジェクトによる横串も大切ですが、行政機関同士の連携、縦割り行政の改善、役所の中の風通しを良くすることが重要だと思います。

まちづくりの推進力については、表現をもう少し磨き上げていただけたらと思います。

【宮下委員】4つのまちづくりの道と政策・施策の関係について質問です。現在、各所管で4つのまちづくりの道に沿って政策・施策やHAPPY SMILE PROJECTについて立案されていると思います。ただ、中には4つのまちづくりの道に当てはまらないものもあるのでしょうか。

【事務局】政策・施策については必ず4つのまちづくりの道に該当すると考えています。今後、4つのまちづくりの道と政策・施策との関係については、わかりやすく示していきたいと思っています。

また、HAPPY SMILE PROJECTに関しては、施策レベルではなく、事業レベルで具体的に記載する予定です。当然、事業は施策に包含されるものですが、よりわかりやすくお示ししたいと思います。

【北村委員】政策・施策については今後具体化されると思いますが、例えば、充実という言葉だけでは、具体的な取組のイメージができていません。肉付けを行う中で、もう少し具体的にわかりやすく記載できれば良いのではないかと思いました。

【白石委員】計画全体の印象としては企業の中期経営計画のような、非常に見やすい計画だと感じています。政策・施策等はこれから具体的にお示しいただけるものだと思いますが、具体的な数値目標などがあればわかりやすいと感じました。

また、企業の中期経営計画とは違って、市民が策定段階から参加しているのが素晴らしい

いと思いました。企業が中期経営計画を1年ごとに見直し、マーケットへメッセージを送っているように、ぜひ、市民の方と定期的に意見交換をしながら、計画の軌道修正をしていただくと、さらに良い計画となるのではないかなと思いました。

【大下会長】ほかにご意見、ご質問はございませんか。

【各委員】～意見・質問なし～

【大下会長】それでは、本日いただいたご意見等をまとめます。

今回示された計画は従来のもものと比較すると、より身近でわかりやすく、市民の方々にもご理解いただけるように作られており、大変好評でした。

また、第1期基本計画の愛称をHAPPY SMILE PLANとすることには否定的な意見はなく、本審議会の総意として了承したいと思います。

なお、構成や文言については細かいところのご意見をいただきました。市民の方にもわかりやすく、共感が得られるようにという計画の趣旨に委員の皆様も賛同されていますので、極力ご意見に沿うような形で修正を加えていただければと思います。特に分野・政策・施策といった今までの行政用語と、HAPPY SMILE PLANとHAPPY SMILE PROJECTのような新たな文言との関係性について、図を用いるなどしてわかりやすく示していただきたいと思います。

本日いただいたご意見等は概ね以上となります。いくつかのアイデアもいただきましたので、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。

(2) その他について

【事務局】本日ご確認いただきました骨子案につきましては、いただいたご意見を踏まえまして、肉付け・修正等行っていきたくと思います。

なお、次回の会議開催についてですが、秋ごろに新たな総合計画（素案）について諮問をさせていただきます。加えて、現行計画である後期基本計画の総括につきましても併せて説明させていただきます。

【大下会長】それでは、そのほかにご質問等がないようでしたら、本日の議題はすべて終了いたします。皆様の円滑な会議運営へのご協力に感謝申し上げます。令和5年度第1回四街道市総合計画審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。

(以上)